

看護学科 3年後期 専門基礎科目／専門科目

1. 保健医療福祉統計概説
2. 総合実習

看護学科

科目名: 保健医療福祉統計概説				担当教員 氏名: ○高橋絹代、島田ひろき、山元恵子、岩城直子、大橋達子、小倉之子、中田智子、稲垣尚恵、泉朱子、炭谷英信、横道直子	
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択
1	3年次	後期	専門基礎科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師、医療職等の現場の豊富な経験と知見を有する専門の講師によるオムニバスで授業を行う					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
各専門領域の教員が担当する国家試験受験のための知識確認 保健、医療、福祉に関する統計的数値を読み解き、看護実践に活かすことができる					統計 疾病 医療 福祉
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8. 9. 10
A 知識・理解力			各分野の保健、医療、福祉を復習し知識として定着させる		
D 問題解決力			問いの意味するところを正確に理解し対応できる		
E 自己管理能力			計画的に学習を進め、自分の弱点を克服することができる		
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素:					
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク </div>					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:					
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
①必修1【高橋】					復習180分
①必修2【高橋】					
③人体の構造と機能【島田】				各科目の講義を受け、理解する	
④疾病の成り立ち【大橋】				国民衛生の動向で必要なデータについて理解する	
⑤健康支援と社会保障【炭谷】					
⑥看護の統合と実践【岩城】					
⑦基礎看護学【泉】				不確かな項目について、担当教員に質問し、確実に理解を深める	
⑧成人看護学1【中田】					
⑨成人看護学2【小倉】					
⑩老年看護学【米山】				問いに対する根拠を理解する	
⑪小児看護学【山元】					
⑫母性看護学【稲垣】					
⑬精神看護学【横道】					
⑭地域・在宅看護学【炭谷】					
⑮保険医療福祉統計概説 試験【高橋】					
使用テキスト: 講師が資料を予め準備し講義を行います これまでのテキストが参考資料となります				その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 国家試験にむけての重要な評価指標となる試験となります。各講義で理解を深め、解らない所は積極的に質問しましょう。					

26年度

看護学科

科目名: 総合実習			担当教員 氏名: ○、山元恵子、○米山美智代、高橋絹代、今川孝枝、小倉之子、大橋達子、中田智子、稲垣尚恵、横道博子、泉朱子、炭谷英信						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	3年次	後期	専門科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護管理者、職能団体代表等の経験を活かし、看護職としての実践から地域活動までの経験を基に学生教員に対して、学内外の授業・演習・実習をコーディネートしている									
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード				
これまでの学内での学習と領域実習等の経験を踏まえ、看護専門職としての役割を認識し、チームメンバーとして看護実践、多職種連携、多重業務、看護管理の実践を体験から、社会で活躍できる看護職としての知識・技術・態度を育成する。					看護観・看護管理・看護実践 看護提供システム チーム医療 医療安全 総合判定				
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9.				
A 知識・理解力			これまで授業・演習や領域実習で学んだ知識や経験を統合し、専門職としての実践を試み、今後の自己課題について考える						
B 専門的技術			複数の患者を受け持ち、優先度、時間配分を考慮した看護展開する						
C 論理的思考力			根拠に基づいた計画・実践の統合を目指して思考を深める						
E 自己管理能力			実習中の健康管理に留意し、倫理的社会的に迷惑を掛けずに終える						
F チームワーク・リーダーシップ			病院、病棟における管理体制を把握し、看護チームにおけるリーダーの役割、メンバーの役割、メンバーシップを実践する						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	50 %	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	50 %	その他:	%
特記事項: 理論と実践の統合を目指し、学生が主体的に取り組むことを支援する。 下記に対しては個人評価に加味する 事前学習・提出物の遅滞・連絡ない遅刻・欠席・グループ内の役割放棄等看護倫理綱領に抵触する行為は対象となる。 本教科は学内実習・臨地実習・看護の基礎知識等を総合的に評価し、知識・技術・態度の相互評価により科目認定する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
到達目標の解説 A知識・理解力の主な科目・人体構造・疾病の成り立ち・健康支援と社会保障・基礎看護学等を臨地実習後の試験に合格する。 B～F専門技術等の評価は実習の態度・出席・実習記録・課題レポート、実習全体の提出物等目標に応じに全て評価基準に合格する。 最終認定科目の評価として、「看護の統合と実践」の知識・技術・態度を身につけている。 以上を単位認定の条件とする									
使用テキスト: これまでのすべての授業、領域別実習で活用したすべてのテキスト教科書を参考にする				その他参考文献など: 基本的な疾患や看護、受け持ち患者の疾病、病態、看護が理解できるように事前に文献を検索する。病棟の管理体制が理解できるように病院の医療安全のマニュアル等も参考にする。					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 3年間の知識、技術、態度、今後の未来に向け、「看護師としてのスタートするための実習」であることを十分に理解し、自己の実力を最大限に発揮してください。									
授 業 計 画					準備学修(予習・復習等)				
回数	3年次 2単位 90～100時間				学修内容	学修に必要な時間(分)			
	実習期間: 2026年9月28日(月)～10月26日(月) 学内実習・授業 9月28日(月)～10月5日(月) 6日間 病院実習: 2026年10月6日(火)～14日(水) 6日間 まとめ・発表 :10/15(木)～10/16(金) 2日間 知識の統合学習 10/19(月)～10/23(金)5日間 試験日 10月26日(月)				【予習】事前課題は実習前にまとめて提出。 実習前日は翌日の実習行動計画を立案 【復習】実習終了後は、一日の評価と学びを記録。 【評価】実習終了後は速やかに目的に応じた実習要約を書き上げ、自己評価する。	60分×14回			
	*実習病院: 7か所 状況により実習施設の変更、配置数の変更もあり得る					60分×14回			
	厚生連高岡病院 8名・高岡市民H8名・済生会富山H8名・黒部市民H8名 金沢医科大学氷見市民H6名・射水市民H6名・西能H6名・								
	以上 50名予定								
使用テキスト: 2026年版看護師国家試験PASS*NOTE Gakken					その他参考文献など:				